

波積ダムだより～第2号～

洪水期を終えました

波積ダムでは、管理移行後初めての洪水期（6月16日～9月30日）を終了しました。7月14日から7月15日にかけての降雨では流域平均累計雨量約82mmを観測し、この雨によりダムの最高貯水位は74.13mを記録しており、洪水期では一番規模の大きいものとなりました。

令和6年度の洪水期は、7回洪水警戒態勢に入りましたが、都治川の氾濫は1度も起こらず、波積ダムが洪水調整機能を発揮出来たと思います。

なお、洪水期中においては快晴の時間が長かった事で、ダムへの流入量が減り、貯水位が著しく低下したため2回渇水調整（放流量の削減）を行いました。洪水対応より渇水対応に苦慮した洪水期となりました。

ダムのはたらき

波積ダムには大きく分けて2つのはたらきがあります。

1) 洪水調節

洪水の時にダムに水を貯めて、ダム下流へ流す水の量を調整し、洪水による被害を少なくします。

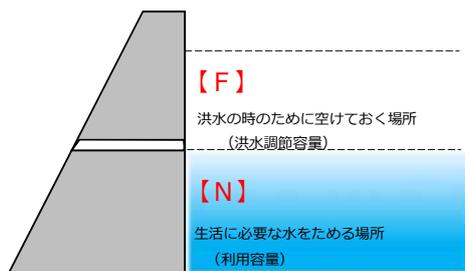
2) 流水の正常な機能の維持

以前から使用していた用水や動植物の生息場所、水質、景観等を守るためダムから水を流します。

洪水の調節のイメージ（大雨の時）

①洪水に備える

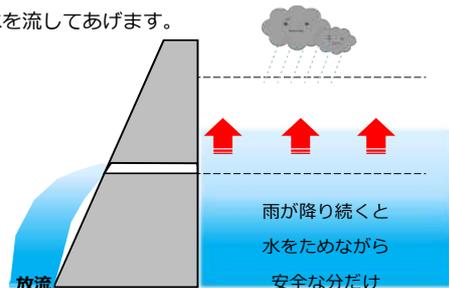
大雨が予想される時期はダムの貯水位を下げ、大雨で降った水をダムの貯水池に貯められるようにダムの容量をあけておきます。



ダムの貯水位を下げる→貯水できる容量を空けておく

②洪水をため込む

大雨が降るとダムにはたくさんの水が流れ込みます。その水をそのまま下流に流してしまうと川が氾濫してしまう可能性があります。そのため、ダムに一部の水を貯めこんで下流の川に対して安全な量の水を流してあげます。



放流をするんだよ。

波積ダムの管理を開始しました

波積ダムは試験湛水（工事完了後にダムに水を貯めてダム設備等に異常がないか確認し、ダムの安全性を確認する試験）が令和6年4月23日に完了し、令和6年6月1日よりダムの管理を開始しました。今後はダムの機能が十全に発揮できるようダムの維持管理に努めていきます。



洪水に備えましょう

波積ダムでは、大雨等によりダムが満水になり、非常用洪水吐き（ダム頭頂部）から越流が予想される場合は、ダム管理所のサイレンや警報車を用いて警報活動を実施します。この場合にはすぐに川から離れて安全な場所に移動してください。



警報車

ダムカードを配布しています



波積ダムの令和6年6月共用開始に伴いダムカードを配布します。

○波積ダムに来訪された方に一人一枚配布します。（無料）

○波積ダム管理所のインターホンを押して頂きダムカードが欲しい旨を職員にお伝えください。

○ダムカードについて簡単なアンケートをお願いしております。ご協力よろしくお願いします。

波積ダムに関するご意見、ご質問ございましたらお気軽にお問合せください。

島根県浜田県土整備事務所

●ダム管理第二課

住所：島根県浜田市片庭町254 TEL：0855-29-5770

●波積ダム管理所

住所：島根県江津市波積町669-1 TEL：0855-55-0961

※波積ダムの電話応答装置

（直近のダム諸量データ音声ガイダンス）TEL：0855-55-0963